



「8・3・土の集い」開催！

8・3・土の集いとは、
知念高校同窓生、現・
旧PTA会員、現・旧本校
職員等、知高に縁のある人
は誰でも参加できる親睦会
で、毎年8月の第3土曜日に開催されています。



今年も8月15日(土)に開催されました。多くの関係者、部活生、職員が参加し、校歌斉唱のあと、国吉昌実後援会会長のあいさつ、後援会顧問で「8・3・土」の集いを始めた本校元校長の中村一男先生による乾杯のあと、オードブルと飲物を囲んで歓談や生徒の活動報告、OBの「カーजूバンズ」と本校職員「美女とキジムナー」による余興など楽しい時間を過ごしました。

伝統ある知念高校、同級生、部活動の先輩後輩、保護者会等、お誘いあわせの上、是非、来年も多くの参加を期待したいと思います。

担当の新垣成美教頭始め教務部の皆様・PTA事務の當眞さん本当にありがとうございました。

令和8年度二学期始業式

その後、伝達表彰が行われ、今年度のメイン行事である舞台祭に向けて、実行委員長の新垣夏輝さん(与那原中)からあいさつがありました。続いて、新旧生徒会引き継ぎ式が行われ、水口愛琉前会長(与那原中)をはじめとする旧執行部から、親川悠佑新会長(佐敷中)をはじめとする新執行部へ、バトンが引き継がれました。素晴らしい知念高校生、二学期も日頃の学習活動はもちろん、行事や部活動に全力投球して充実した学校生活を送って欲しいと思います。



令和8年度二学期始業式が、8月31日(月)に行われました。校歌斉唱の後、校長あいさつに続き、進路指導部主任の照屋圭二郎先生、生徒支援部の赤堂秀馬先生、教育相談担当の宮城佳代先生から、新学期を迎えるに当たってのお話がありました。

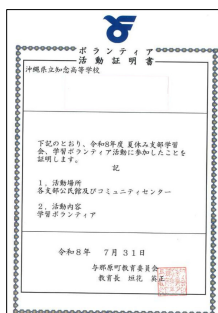


高校生地域ボランティア



これからの社会では、地域とつながり、他者と協働する力がますます重要になります。地域のために積極的に活動した知念高校生を誇りに思うとともに、今後も主体的な参加とさらなる活躍を期待します。

与那原町では、地域で子供たちを見守り、学習を支援することで、地域の絆を深めながら健全な成長を支えることを目的に、「支部学習会(支部寺子屋)」を実施しています。この夏休み、多くの知念高校生がボランティアとして参加したこと、8月31日(月)、与那原町教育委員会の垣花英正教育長と学校教育課の大浜辰也指導主事が来校し、「令和8年度支部学習会(支部寺子屋)高校生ボランティア」のお礼とボランティア証明書を届けてくださいました。



職員研修が行われました

夏休み期間中の8月28日(金)、職員研修として、

防災学習と救急法講習を実施しました。講師は、救急法指導員で専門学校日経ビジネス校校長の



の川畑三矢先生と、日本赤十字社沖縄県支部の崎山翔平氏(本校OB)です。

前半の防災学習では、学校周辺の地図を用いて、津波避難時の課題や対応について意見交換を行いました。後半の救急法講習では、心肺蘇生法やAEDの操作方法を学びました。また、養護教諭を中心に、教育活動中のさまざまな場面を想定したケーススタディを行いました。

参加した教職員が真剣に研修へ取り組む姿から、本校職員の高い資質能力と生徒への責任感を改めて実感しました。ご多用の中、講師をお引き受けいただいた川畑先生、崎山氏をはじめ、企画・運営に当たった養護教諭の上原厚子先生、吉田眞子先生、棚原綾乃先生に心より感謝申し上げます。